

(別紙1)

動物実験等の実施状況
(29年度)

森林研究・整備機構

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 9件		
哺乳類			爬虫類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
キタリス	1	5	－	0	0	－	0	0
フィンレイソンリス	1	1						
ニホンリス	1	1						
アカネズミ	2	30						
ヒメネズミ	1	5						
[イヌ]	1	[3]						
[ラット] ※	3	[69]※						
2. 動物実験の主な内容								
・リス類におけるタンニン含有餌の嗜好性 ・ラットを用いたスギ花粉飛散防止液の安全性評価試験 ・シロアリ探知犬のシロアリ嗅ぎ分けメカニズム解明 ・竹抽出液（エキス）の匂い刺激による腎臓交換神経活動に与える影響評価 ・トリフのラットを用いた急性経口毒性試験 ・野ネズミの巣に生息するオオヤドリカニムシの便乗メカニズムの解明 ・野ネズミのタンニン耐性に及ぼす外気温の影響の解明								

[] は、外部機関で飼養しているものである。
[] ※は、委託契約により、外部機関で飼養したものである。

(別紙2)

動物実験等に関する自己点検及び評価報告書 (29年度)

森林研究・整備機構

1 所内要領

- ☐ a 指針等に適合した所内要領が定められている
☒ b 所内要領は定められているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点

外部検証に基づく改善を行う必要がある。

②改善の方針、時期等

外部検証に基づく改善を今年度中に行う。

2 動物実験委員会

- ☒ a 指針等に適合した動物実験委員会が設置されている。
☐ b 動物実験委員会が設置されているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点

②改善の方針、時期等

3 施設等の維持管理

- ☒ a 施設等は適切に維持管理されている。
☐ b 施設等の維持管理に問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

4 動物実験計画書の審査及び実施

- ☒ a 動物実験計画書は、指針等に従って適切に審査、実施されている。
☐ b 動物実験計画書の審査、実施に関して問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

5 動物実験の実施結果報告

- ☒ a 動物実験の実施結果報告と取りまとめた実施状況は適切に理事長へ報告されている。
☐ b 動物実験の実施結果の報告に関して問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

6 実験動物の健康及び安全の保持

- ☒ a 飼養保管や輸送において、指針等に定められた実験動物の健康・安全の保持の措置が適切に行われている。
☐ b 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全の保持に関して問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

7 生活環境の保全

☒ a 指針等に従い、施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。

☐ b 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

8 人への危害・環境保全上の問題の防止

☒ a 指針等に従い、人への危害や環境保全上の問題が適切に防止されている。

☐ b 人への危害や環境保全上の問題の防止に関し問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

9 安全管理に注意を要する動物実験（遺伝子組換え動物、感染症等に係る実験等）

☐ a 安全管理に注意を要する動物実験について、指針及び関連法案に適合した実施体制が確保され、安全に実験が行われている。

☐ b 安全管理に注意を要する動物実験について問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

☒ c 安全管理に注意を要する動物実験は、行われていない。

10 地震、火災等の緊急時の対応

☒ a 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題がない。

☐ b 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

11 教育訓練

☒ a 指針に沿って、教育訓練が実施されている。

☐ b 教育訓練が実施されているが、問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

☐ c 必要な教育訓練が実施されていない。

○実施の方針、予定等

☐ d 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。

12 総合的な評価

☒ a 指針等に基づき適切に実施されている。

☐ b 次の点において改善等を行うこと。

○改善点等

動物実験委員会記入欄

- ☐ a 指針等に基づき適切に実施されている。
- ☒ b 次の点において改善等を行うこと。
所内要領に外部検証に基づく改善を行う。
-

平成30年5月16日
動物実験委員会委員長